

ニュージーランド研修事前・事後 アンケート調査について

近 藤 益 世*

1. はじめに

グローバル化が進む現代、世界共通語である英語の需要は様々な領域においてその密度を増している。受容と発信とが調和ある形で培われる姿勢は今や語学教育に不可欠なものである。海外研修はそうした理念の実現を担う一要素として、体験型教育の在り方を示唆してくれるものである。

本学の海外研修プログラムは、大学発足当初より長きに亘って施行され、幾多の学生に深い感銘とライフスタイルへの指針を与えている。一昨年度は本学とマッセイ大学及びオタゴポリテクニクとの、そして昨年度はカンタベリー大学との交流 20 周年を迎えた。

そうした流れの中で、平成 23 年度のニュージーランド研修は 4 都市——オークランド、パーマストンノース、ウェリントン、ダニーデン——で行われた。風光明媚な自然、瀟洒な街並み、温かな人々に囲まれ、学生達はゆったりとした時間の中で 3 週間の語学・文化研修を体験した。午前中は各大学にて 10 名前後のクラスメートと共に英語のレッスンを受講、午後は観光・スポーツ（ゴルフ、乗馬、ボーリング、サッカー等）・文化施設訪問（美術館、博物館、メディアセンター、テレビスタジオ等）など様々なアクティビティを満喫、そして週末にはホストファミリーと共にそれぞれの時間を演出。大学と家庭の異なる雰囲気を楽しむながら、自ずとニュージーランドの香り

に包まれていく。そしてそこに新たな自分を、新たな日本の姿を見出すのである。

学生達の想いは毎年発刊されている『海外研修記録』及び、事前・事後アンケートに反映されている。今回、初めてアンケート結果をまとめ、今後の海外研修企画及び語学教育の在り方の参考資料の一つになればと考えている。

2. 事前・事後アンケート調査項目

事前・事後アンケート調査の項目は次の通りである。

2011 年度 江戸川大学 海外研修

事前 アンケート

【選択形式】

下記のそれぞれの質問事項に次の 5 段階でお答えください。

1. よく当てはまる
2. だいたい当てはまる
3. どちらとも言えない
4. あまり当てはまらない
5. 全く当てはまらない

(A) 研修前の事前授業について

- 1) 現地事情を知るために、ビデオ教材は有効だと思う。 1 2 3 4 5
- 2) 現地事情を知るために『海外研修記録』は有効だと思う。 1 2 3 4 5
- 3) 英会話練習に『サバイバル英会話』は有効だと思う。 1 2 3 4 5

* 江戸川大学 情報文化学科教授

- 4) 研修先大学とインターネット交流があると
良い。 1 2 3 4 5
- 5) ホストファミリーとEメールで通信したい。
1 2 3 4 5

2011年度 江戸川大学 海外研修

事後 アンケート

(B) 海外研修の期待と不安について

- 1) ホストファミリーとのコミュニケーション
はうまくいくと思う。 1 2 3 4 5
- 2) ホストファミリーとの生活はうまくいくと
思う。 1 2 3 4 5
- 3) ホームシックにはならないと思う。
1 2 3 4 5
- 4) ホームステイ先の習慣になじめると思う。
1 2 3 4 5
- 5) 日常会話は円滑にできると思う。
1 2 3 4 5
- 6) 現地授業の進行についていけると思う。
1 2 3 4 5
- 7) 現地で充実したアクティビティーがあると
思う。 1 2 3 4 5
- 8) 現地の生活になじめると思う。
1 2 3 4 5
- 9) 現地の治安は良いと思う。
1 2 3 4 5
- 10) 現地の食べ物が口に合うと思う。
1 2 3 4 5
- 11) 現地の交通で不自由はしないと
思う。 1 2 3 4 5

【自由記述】

下記の項目についてあなたの意見を自由に書いてください。

- (1) 英会話練習に対する意見, 要望
- (2) 現地事情を知るための文化研修に対する
意見, 要望
- (3) 海外研修に望むこと
- (4) 研修前の授業で特に知っておきたいこと
- (5) その他不安なことや期待することがあれば書いてください
(不安) (期待)

【選択形式】

下記のそれぞれの質問事項に次の5段階でお答えください。

1. よく当てはまる
2. だいたい当てはまる
3. どちらとも言えない
4. あまり当てはまらない
5. 全く当てはまらない

(A) 研修前の事前授業について

- 1) 現地事情を知るために、ビデオ教材は有効
だった。 1 2 3 4 5
- 2) 現地事情を知るために『海外研修記録』は
有効だった。 1 2 3 4 5
- 3) 英会話練習に『サバイバル英会話』は有効
だった。 1 2 3 4 5
- 4) 研修先大学とインターネット交流があると
良い。 1 2 3 4 5
- 5) ホストファミリーとEメールで通信したい。
1 2 3 4 5

(B) 海外研修の期待と不安について

- 1) ホストファミリーとのコミュニケーション
はうまくいった。 1 2 3 4 5
- 2) ホストファミリーとの生活はうまくいった。
1 2 3 4 5
- 3) ホームシックにはならなかった。
1 2 3 4 5
- 4) ホームステイ先の習慣になじめた。
1 2 3 4 5
- 5) 日常会話は円滑にできた。
1 2 3 4 5
- 6) 現地授業の進行についていけた。
1 2 3 4 5
- 7) 現地で充実したアクティビティーがあった。
1 2 3 4 5
- 8) 現地の生活になじめた。
1 2 3 4 5

- 9) 現地の治安は良かった。
1 2 3 4 5
- 10) 現地の食べ物が口に合った。
1 2 3 4 5
- 11) 現地の交通で不自由はしなかった。
1 2 3 4 5

- 対する意見, 要望
- (3) 海外研修参加後の成果
(英語力)
(文化体験)
- (4) 研修前の授業で知っておけば良かったこと, 調べておけば良かったこと
- (5) その他, 面白かったこと, ためになったこと, 残念だったことがあれば書いてください。
(面白かったこと)
(ためになったこと)
(残念だったこと)

【自由記述】

下記の項目についてあなたの意見を自由に書いてください

- (1) 事前の英会話練習に対する意見, 要望
- (2) 事前の現地事情を知るための文化研修に

3. アンケート調査結果

事前アンケート 実施日：2011年8月26日
回答数：107

事後アンケート 実施日：2011年9月15日
回答数：116

【選択形式】

(A) 研修前の事前研修について

事前アンケート結果

	よく当てはまる	大体当てはまる	どちらとも言えない	あまり当てはまらない	全く当てはまらない
(1) 現地事情を知るために, ビデオ教材は有効だと思う	12	48	29	16	2
(2) 現地事情を知るために, 『海外研修記』は有効だと思う	22	36	33	14	2
(3) 英会話練習に『サバイバル英会話』は有効だと思う	16	39	33	15	4
(4) 研修先大学とインターネット交流があると良い	16	28	41	18	4
(5) ホストファミリーとEメールで通信したい	16	26	42	15	8

事後アンケート結果

(1) 現地事情を知るために, ビデオ教材は有効だった	8	21	42	30	15
(2) 現地事情を知るために, 『海外研修記録』は有効だった	17	29	38	20	12
(3) 英会話練習に『サバイバル英会話』は有効だった	8	16	45	21	24
(4) 研修先大学とインターネット交流があると良い	17	22	46	20	11
(5) ホストファミリーとEメールで通信したい	30	31	31	12	12

【選択形式】

(B) 海外研修の期待と不安について

事前アンケート結果

	よく当てはまる	大体当てはまる	どちらとも言えない	あまり当てはまらない	全く当てはまらない
(1) ホストファミリーとのコミュニケーションはうまくいくと思う	4	17	53	23	9
(2) ホストファミリーとの生活はうまくいくと思う	5	19	58	20	4
(3) ホームシックにはならないと思う	15	19	33	25	15
(4) ホームステイ先の習慣になじめると思う	7	18	50	28	4
(5) 日常会話は円滑にできると思う	6	15	29	35	22
(6) 現地授業に進行についていけると思う	5	13	45	32	12
(7) 現地で充実したアクティビティーがあると思う	22	24	45	13	3
(8) 現地の生活になじめると思う	6	23	53	23	2
(9) 現地の治安は良いと思う	9	20	53	16	8
(10) 現地の食べ物が口に合うと思う	8	16	58	19	6
(11) 現地の交通で不自由はしないとと思う	4	14	46	36	7

事後アンケート結果

(1) ホストファミリーとのコミュニケーションはうまくいった	26	49	24	14	3
(2) ホストファミリーとの生活はうまくいった	38	43	21	8	6
(3) ホームシックにはならなかった	51	16	22	10	17
(4) ホームステイ先の習慣になじめた	40	38	23	9	5
(5) 日常会話は円滑にできた	10	35	47	20	5
(6) 現地授業の進行についていけた	26	42	34	11	3
(7) 現地で充実したアクティビティーがあった	38	34	18	11	10
(8) 現地の生活になじめた	39	47	17	7	6
(9) 現地の治安はよかった	52	42	11	3	8
(10) 現地の食べ物が口に合った	29	34	31	15	7
(11) 現地の交通で不自由はしなかった	35	33	24	13	11

【自由記述】

事前アンケート

(1) 英会話練習に対する意見, 要望

- 現地で必要な単語集があればよい。
- 事前研修における英会話練習の時間が不足。
- 初心者用の英会話は有難い。
- 頻繁に使用される表現や、ボディランゲージなどで快く思われないものなどを教えてもらえると、コミュニケーションが円滑にできると思う。
- 海外で役立つ英会話をもっと学びたい。
- 日常会話に支障がない位の実力をつけたい。
- 様々な状況を想定した英会話練習。
- マスコミ学科は海外研修が必修であるため、英会話を前期必修にした方がいい。海外研修ガイダンス内だけでは時間が足りない。

(2) 現地事情を知るための文化研修に対する意見, 要望

- 現地情報を得られたのはよかった。
- 日本とニュージーランドの文化の違いをもう少し学びたかった。
- 自分で調べる方がより勉強になる。
- 百聞は一見にしかず。どれだけ聞いても行ってみなければわからない。
- 将来的にも有用である。
- 知らなさすぎるのも駄目だし、知りすぎるのもつまらない。ちょうどよかった。
- ビデオを通じて研修地の概観を得られてよかった。
- 基本的な知識、ニュージーランドの常識等を知っておきたい。
- ネットを使った調査。
- ビデオ教材をもっと見たい。
- 研修大学についてより多くの情報を得たい。

(3) 海外研修に望むこと

- 日頃の生活で経験できないことを経験したい。
- 自立心を育てたい。

- 自己の順応力を高める。
- 英語力の向上。
- 異文化理解, 交流を深める。
- 外国人と物怖じせずに会話ができるようになりたい。
- 日常会話が理解できるようになりたい。日本で突然英語で話しかけられても対応できるように。
- 今後必要になってくるであろう英語力と新しい環境に対応していく適応力を培いたい。
- 充実した生活。
- 外国人とコミュニケーションをとれるようになる。
- 異文化を体験し, 今後の大学生活で自分を変えること。
- 価値観や考え方の幅を広げられるようにしたい。
- ホストファミリーとの生活になじめるようにする。
- 現地での充実した体験を通して日本とニュージーランドとの比較をやってみたい。
- 3週間という期間の中で少しでも外国への抵抗が無くなればよい。
- 「見える」ものをみのがさないように努力したい。
- 海外の文化と日本の文化の違いを実感したい。
- 安全な生活。
- 英語に対する苦手意識を払拭する。
- 思い出作り。
- 日本にはない新しい発見をする。
- 学びの中に楽しさがあれば。

(4) 研修前の授業で特に知っておきたいこと。

- 日常英会話。
- 現地大学の授業についての詳細な情報。
- 日常生活での注意点（日本では当たり前でもニュージーランドではしてはいけないこと等）、トラブルを防ぐためのアドバイス。

- ニュージーランドの生活。
- ニュージーランドの文化・慣習。
- ニュージーランドの現状。
- 研修地の地理的環境。
- 日本とニュージーランドの違い。
- 現地の食生活。
- 研修地の全体的な流れ。
- ニュージーランド人に対する礼儀, マナー。
- 現地の治安。
- 一人一冊ニュージーランドのガイドブックを配ると楽しみが増す。
- ホームステイ先での注意事項。

(5) その他不安なことや期待することがあれば書いて下さい。

(不安)

- コミュニケーションが上手くいくか。
- 現地の生活に馴染めるか。
- 初めての海外, ホームステイ体験。
- 金銭面。
- 飛行機による旅。
- ホストファミリーと上手くやっっていけるか。
- 現地の地理的状况に早く馴染めるか。
- プラグや変圧器の問題。
- インターネットが使えるか。
- 現地の食生活, 習慣に馴染めるか。
- 現地の大学の授業についていけるか。

(期待)

- 充実した生活が送れそう。
- 物質, 精神両面においてたくさんのものを得たい。
- 日本では体験できないものを体験できる。
- 現地の食事。
- ニュージーランドの風土を肌で感じ取れる。
- ニュージーランドの人々との出会い。
- 観光も楽しめる。
- ホームステイでの生活, 交流。
- ホームステイという初めての経験。

- 現地のアクティビティー。
- ニュージーランドの異文化, 自然に触れられる。
- ラグビーのワールドカップ。
- 日本での生活との違いを楽しむ。
- 現地大学の授業。

事後アンケート

(1) 事前の英会話練習に対する意見・要望

- もっと時間をかけてほしい。(14)
- あまり意味がない。(7)
- もっと実用的なものがあると良い。(7)
- 日常会話の練習を増やした方が良い。(5)
- 必要最小限の資料が欲しかった。(4)
- 語彙力強化の必要性。(4)
- シチュエーションに合わせた会話を知っておくとホストとの会話が上手くいくと思う。(3)
- 実際に現地に行ってみるとジェスチャーを使うことがとても多かった。事前の英会話練習にジェスチャーを取り入れると良い気がします。(2)
- 現地では単語を並べるだけで通じることが分かり, 会話に自信がなくても意外と大丈夫だった。
- 聞き取りをもっと勉強したい。
- 自らの要望+要件を伝える文を事前に作成しておく方がよい。
- 練習しても特に意味はないと思う。一番必要なのは自分から理解しようとする姿勢だと思う。
- 全体的にリスニング能力が低い。何を聞かれているのか分からずに適当に答えている人がいて現地の先生が呆れた顔をしていた。リスニング対策を強化すると良いと思う。
- 一年生の間は一年間かけて英会話を勉強して, 二年生でホームステイをした方がもっと充実したものになると思う。

(2) 事前の現地事情を知るための文化研修に対する意見・要望

- 現地の特徴を知る。(8)
- 日本とニュージーランドとの生活や文化の違いについてのより詳細な説明が欲しかった。(5)
- 自然や風土の他にお店や日常生活の情報が欲しかった。(4)
- ビデオ教材は現実とかなり違っていた。(4)
- お金の使い方や価値について説明して欲しかった。(4)
- 先輩の体験談は役に立った。(3)
- 十分な情報があった。(3)
- 行ってみないと分からない。(2)
- 知っていたら安心、知らない方が楽しい。
- インターネット等で調べ学習すると知識がついて、現地の生活が楽しくなるかもしれない。
- どんなどころなのかを知ったとき、行くのが楽しみになりました。
- 分かりやすかった。

(3) 海外研修参加後の成果

(英語力)

- リスニング力がついた。(38)
- 英語力がアップした。(29)
- あまり変わらない。(5)
- 日常会話に自信がついた。(4)
- 日常会話はなんとかできるようになった。(3)
- スピーキング力がついた。(2)
- 単語の意味が以前よりも多く理解できるようになった。(2)
- 英語は使ってみないと身につかないことを実感した。
- 単語を並べるだけでなく、簡単な文章を作れるようになった。
- 少しのことでは動じなくなった。
- ジェスチャーを覚えた。
- 会話力がついた。

- 理解しようとする気持ちがあった為、リスニング力が上がり視野が広がった。
- 日本にいた時よりもわかる単語が増えた。
- スピーキングはあまり変わらなかったけれど、英語に対する気持ちが変わった。英語が好きになった。
- 会話は完璧ではないが、要所要所を聞いて内容が理解できるようになった。
- 伝えたいことが伝わるようになった。
- 英語に対するコンプレックスがなくなった。
- 英語に自信がついた。
- 自分から英語で話しかける力がついた。
- 英会話の雰囲気になじめるようになった。
- ニュースやテレビドラマなどの内容がつかめるようになった。
- コミュニケーション力がついた。
- 英語的感覚が身についた。
- 英語に興味をもった。
- 会話の意味が大体わかるようになった。

(文化体験)

- 日本と異なった文化のすばらしさを感じることができた。(7)
- 全く違う環境の中で大いに楽しんだ。(6)
- マオリ文化の一端(ハカ)に触れられた。(3)
- 食生活の違いを楽しめた。(3)
- ほぼ毎日のようにカルチャーショックを受けた。(2)
- 日本では見られない貴重な文化体験ができた。(2)
- 水の大切さを実感した。(2)
- ホストファミリーの習慣は自然に受け入れられ、様々な文化体験ができた。(2)
- 様々な発見があり楽しかった。(2)
- 最初は日本との違いに驚きの連続だったが、三週間の間にニュージーランドの生活に少し慣れた。
- 価値観が少し変わった。もののありがたみとあたりまえのモロさ。

- 「思っていることを口に出していい」ということを学んだ。
 - 生活していくことが文化体験だと思った。
 - 異文化に触れて慣れないことばかりであったが楽しかった。
 - 見るものすべてが文化体験であった。
 - アクティビティーなどを通してニュージーランドのさまざまなことを知った。
 - だめだと思っけていてもどうしても日本と比べてしまった。
 - いかには日本が自分にとって住みやすいかが実感でき、異文化を楽しめた。
 - ラグビーの盛り上がり方はすごいと思った。
 - ニュージーランドの文化、特にマオリ文化に触れられた。
 - 日本では考えつかなかったことが多く、「日本に取り入れたらいいのに」と思った。
 - 貴重な鳥類が見られた。
 - 不自由なことはなかったが、いろいろな面で日本は進歩していると思った。
 - 自然に満ちた空間に感動した。
 - 素晴らしい景色を目に焼き付けた。日本と比較してゆったりとした時間を過ごすことができた。
- (4) 研修前の授業で知っておけば良かったこと、調べておけば良かったこと。
- 日常英会話をもっとやっておけばよかった。(27)
 - 現地のこと。(8)
 - 気候や気温。(6)
 - 公共でのマナー、バスの乗り方、降り方。(5)
 - ラグビーのゲーム内容。(3)
 - ニュージーランドの物価について。(3)
 - ホストファミリー宅の設備、周辺の地理。(2)
 - 日本に関する知識。(2)
 - インターネット使用について。(2)
 - 交通機関に関する情報。(2)
 - 食事のこと。
- ホストファミリーが日本の何に興味があるの知っておきたかった。
 - 行きたい所とか、興味ある場所。
 - ホストファミリーについての詳細な情報。
 - お金の使い方。
- (5) その他、面白かったこと、ためになったこと、残念だったことがあれば書いて下さい。
- (面白かったこと)
- アクティビティー (36)
 - 家族との交流。(10)
 - 全部。(7)
 - ショッピング。(4)
 - 授業。(4)
 - 景色の素晴らしさに感動。(4)
 - ニュージーランドと日本との違い類似点を見つけたこと。(4)
 - 街の散策。(3)
 - スポーツ体験。(3)
 - 友達との交流。(3)
 - 中国の留学生との交流。(2)
 - 食文化の違い。(2)
 - 外国人とのコミュニケーション。(2)
 - 多くの友達ができた。(2)
 - ホストファミリーとの時間。
 - ラグビーのワールドカップの影響で街中を歩くだけでいろいろな人に出会えたこと。
 - 馬に乗り、広大な自然を満喫した。
 - ラグビー観戦。
 - 毎日がアクティブ。
 - 全てが新鮮でおもしろかった。
 - ラジオ収録。
 - キャピタル・Eで自分で曲を作れたこと。
 - 通学、通勤手段の多様性。
 - ホームスティそのもの。
 - 人との出会いは何のものにも替え難いもので人生観が大きく変わった。
- (ためになったこと)
- 日常会話での英語。(10)

- 英語を聞き取る力がついた。(6)
 - 海外の文化、生活を知ったこと。(4)
 - コミュニケーションの重要性を実体験を通して感じる事ができた。(4)
 - ラジオ局訪問。(4)
 - 全て。(4)
 - 英語を話すことに自信がもてた。何があっても日本で強く生きていけると感じた。(3)
 - 友達が増えた。(3)
 - ジェスチャー、笑顔。(3)
 - 授業。(3)
 - ホストファミリーとの時間。(2)
 - 自立心が培われた。(2)
 - 精神的に一回り大きくなった。(2)
 - 英語力が増した。(2)
 - 日本の良さを再認識。(2)
 - 解らないものを解らないままにせず、質問することの重要性を実感した。(2)
 - 現地の風土がわかった。(2)
 - 人とのコミュニケーション能力があがった。(2)
 - 異文化の生活の中で、様々な発見ができた。(2)
 - 英語力のなさを再認識。(2)
 - 日本とニュージーランドとの違い。
 - ホームスティ。
 - フランスからの留学生との交流によって英語とフランス語を勉強できたこと。
 - 発音が大事であることを身をもって知った。
 - 伝えようとする気持ちが大切だと気づかされた。
 - 英語を勉強する意味がやっとわかった。
 - 海外への不安が少なくなった。
 - 日本にいては解らない世界の広さが解った。
 - マオリ族など知らない文化に触れられた。
 - 全く違う文化の人との生活はとても役に立った。
 - 会話する時の表情やジェスチャーの大切さ。
 - 人の行動やシステム。
 - 健康的な生活。
 - いろんな人との出会い。
 - 積極性の大事さ。
 - はっきりとした意志表示。
 - 英語を勉強する上でのモチベーションを与えられた。
 - ホームスティそのものが役立った。日本語が活かせない空間で自分の英語力が問われるが、日本で机で勉強するよりも何倍も役立った。
 - 発音の違い。
 - 現地の人々の心のあたたかさ。
- (残念だったこと)
- 語学力のなさ。(12)
 - 滞在期間が短い。(7)
 - 料理が口に合わなかった。(5)
 - アルパトロスが飛ばなかった。(5)
 - コミュニケーションの難しさ。(4)
 - 別れ。(3)
 - 日本食が少ない。(3)
 - ホームスティ先に多くのお客さんがきた時に時々感じる疎外感。(2)
 - ホストファミリーとの趣味の違い。(2)
 - シャワータイムの短さ。(2)
 - 自由な時間の過ごし方が分らず、無意に過ごした事。プランを立てておけば、より有意義な研修になった。
 - 食事のメニューが同じ時が多かった。
 - 日本の家族と連絡がとれなかった。
 - もう少し自由な時間がほしかった。
 - バス等の交通機関の不便さ。
 - 持参のPCが使えなかった。
 - 現地の大学生との交流がほしかった。
 - スポーツがやりたかった。
 - 清潔感に対する考え方の違い。
 - 日本人の友達との交流を深め過ぎた良いことではあるが、英語だけの生活ということにはならなかった。

4. アンケート調査結果から導き出される 今後の展望

アンケート調査に見られる学生たちの声は、拙い表現ではありながらも、素朴な響きの中に彼等の偽らざる思いが伝えられており、幾多の有用な示唆をもたらしてくるものである。事前に彼等が抱いていた様々な不安——ホームステイ、授業、現地状況等——は自らの体験を通して悉く払拭され、小さな期待は大いなる成果となって彼等の内奥に深く刻まれていく。現地の授業、ホームステイ、アクティビティー、自主研修等、彼等にとっては初めての経験が彼等に新たな自分、新たな世界を見出させている。三週間という短い期間でありながら、彼等の研ぎ澄まされた感性はすべてを消化し、予想以上の英語力増進、様々な文化体験、自立心・自己確立を促す人間的成長という何ものにも替え難い宝物をもたらした。彼等の声は如実にそれを映し出している。

学生達の答えはその殆どが研修に対する肯定的なものであるが、同時に今後の海外研修企画の在り方への提言も含まれており、それらをもとに今後改善すべき点を幾つか挙げてみたい。

英語運用能力：

- 事 前——海外研修参加者対象の英語必修科目を設置。Sky-pe を利用し、リスニング・スピーキング能力を強化する。
- 事 後——現地体験を通して培われた英語力をより磨くための TOEIC 対策授業を設置する。

文化研修：

- 事 前——後期に設定されている「アジア・オ

セアニアの文化」に繋がる科目を前期に設定し、グローバルな視野に立った文化的素養を培う。

従来の事前研修ガイダンス：

渡航に関する諸手続き、ホームステイでの注意点、現地大学の実情、現地授業シラバス、ニュージーランドに関する DVD 上映、プログラムについての全体的な流れ、先輩学生の体験談等、現地生活をする上で実際に役立つ事柄のガイダンス。

なお、現地大学の受け入れ態勢が許せば、現地授業を受講する際、日本人のみのクラスではなく、世界各地からの学生と交流できる形での言語・文化体験が出来れば、研修効果はより大きなものとなると思われる。

世界を舞台としたコミュニケーション能力開発の特色として、

- (1) 「世界の中の日本」を見据える幅広い知識と感性の習得。
- (2) 海外の大学との faculty の共有による実践的な英語力向上、異文化理解力の増強。
- (3) 体験型教育による自己確立、人格形成、将来的展望の樹立。

等が挙げられ、学生の将来像に大きな意義をもたらすものである。グローバル化された現代社会において学生に求められるのは、コミュニケーション能力、自己確立、クリエイティブな発想力である。様々な問題が山積している今こそ、将来を担う若者達がグローバルな視野に立って物事を律していく姿勢は必要不可欠のものである。「海外研修」は語学力、文化体験、人間教育等様々な領域での根幹をなすものとして、その有意性は大きなものがあると思われる。

Report on English and Cultural Study in New Zealand

KONDOU Masuyo

Abstract

Edogawa University students have been participating in English and cultural study abroad programme since our founding. They have thought much of the fruitful experiences they got in some foreign countries. Most of the graduates are very active in the various kinds of fields abroad as well as in Japan. Their features show us how impressive the training programmes are. The programmes tell us about what they have given the participants as one of the methods of experiential education: how greatly the participants have improved their English ability to communicate with other people, enlarged their global viewpoint, and gained their deep insight into their way of life.

The personal experiences and thoughts of the students are reported in the journal which is published every year and two kinds of questionnaires which are sent out before and after the training tour. Their voices give us many useful advices for planning the training programme: how do we teach them in order that they can communicate with other people in English so effectively, or how can we introduce the social and cultural features of the foreign countries from the global point of view.

This report paper contains their voices gotten by two kinds of questionnaires and several improvements for planning the training programme according to the result of the questionnaires.